

③② 〔任群馬県勢多郡長〕

明治 29 (1896) 年 4 月 1 日

明治維新後、八木始は前橋藩の権大属を務めました。廃藩置県後には群馬県初の学区取締となり、群馬県学務課に勤務します。そして明治 17 (1884) 年には東群馬郡・南勢多郡長、同 20 年には邑楽郡長、同 27 年には再び東群馬郡・南勢多郡長、同 29 年から同 31 年までは勢多郡長を務めました。約 15 年間明治政府の地方官として県内で活躍しました。

八木健次家文書 P09702 No. 856

